

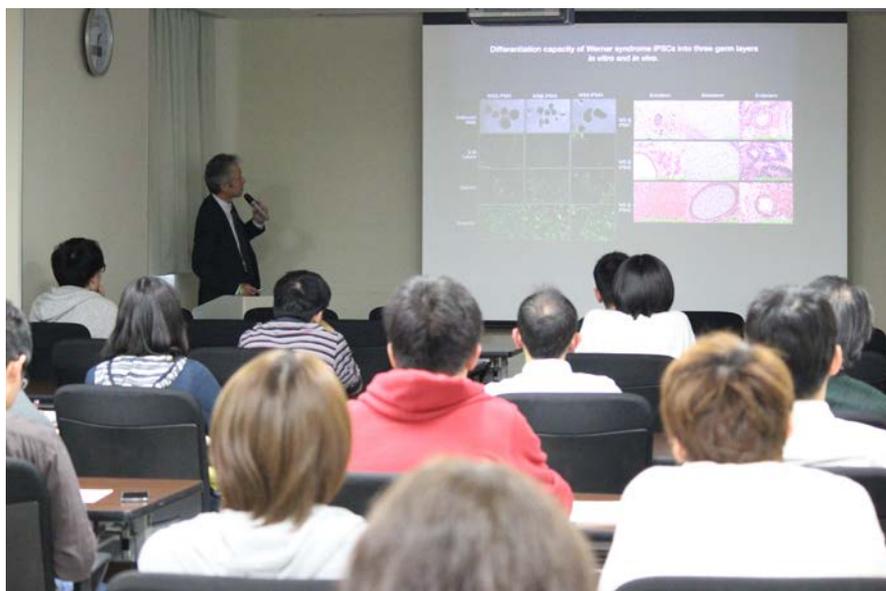
「腫瘍動態制御セミナー」を開催

2017年4月21日

4月21日（金）に、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、広島大学大学院 歯薬保健学研究院 准教授 嶋本 顕先生を招いて、腫瘍動態制御セミナーを開催しました。

セミナーでは「加齢・疾患・がんと細胞老化」という演題で、細胞老化誘導 microRNA とがん創薬の紹介や最新の研究結果について講演いただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約32名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



腫瘍動態制御セミナー



演者：

嶋本 顕先生

(広島大学大学院医歯薬保健学研究院・准教授)

演題：

加齢・疾患・がんと細胞老化

日時・場所：

2017年4月21日（金） 17:00 - 18:00

がん進展制御研究所 4階会議室

細胞老化はテロメア短縮、異常増殖シグナル、DNAダメージ応答など、様々な内的外的ストレスによって引き起こされるがん抑制機構である。細胞老化誘導シグナルは永久的な増殖停止に加え、細胞の形態や遺伝子発現プロファイルの変化、SASPと呼ばれる炎症性サイトカインや増殖因子などの高産生などを誘導し、加齢による組織の機能低下だけでなく、がんや生活習慣病と深く関わっている。本セミナーでは、1) 細胞老化誘導microRNAとがん創薬、2) リプログラミングによる早老症細胞の若返りと治療への応用、3) 誘導性がん幹細胞を用いたがん休眠・再発モデル、について紹介していただく予定です。

司会：松本邦夫（がん進展制御研究所・腫瘍動態制御）（6745）